

103-282

問題文

前問の投与順を選択した理由として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. アセトアミノフェン坐剤とジアゼパム坐剤を同時に投与すると、直腸内で両主薬の溶解度が上昇し、吸収量が増加する。
2. アセトアミノフェン坐剤とジアゼパム坐剤を同時に投与すると、主薬間で不溶性の複合体を形成し、吸収量が減少する。
3. ジアゼパム坐剤を先に投与すると、アセトアミノフェンがマクロゴールに分配し、吸収量が減少する。
4. アセトアミノフェン坐剤を先に投与すると、ジアゼパムがハードファットに分配し、吸収量が減少する。
5. マクロゴールによってハードファットが不溶化し、アセトアミノフェンの溶出量が減少する。

解答

問282 : 4問283 : 4

解説

問282

問283 とまとめて解説します。

問283

アセトアミノフェンは解熱剤です。ジアゼパムは抗けいれん薬です。アルピニーとダイアップ坐剤等が処方されていた経験があるとイメージしやすいと思います。

ジアゼパムが脂溶性が高いため、アセトアミノフェンの基材であるハードファットに分布しないようにすることが求められます。（ちなみに、ジアゼパムの基材であるマクロゴールは水溶性基剤の代表例です。）

そのため、ジアゼパムを先に使用した上で、アセトアミノフェンは30分以上あけて使用するよう指導します。同時に投与したりアセトアミノフェンを先に投与すると、ジアゼパムがハードファットにまず分布してしまい、吸収量が減少したり薬効が現れるのが遅くなることが知られています。

以上より、問282の正解は4

問283の正解は4です。

類題